

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	施設の方針により、コロナが第5種になって以降も可能だが、外出も少なく、外食には行っていない状況だった。	大勢の人ごみ中ではなく、景色のきれいな所への外出や、時間帯を考慮して外食を楽しむ等、コロナ禍以前のように少しずつ戻していく。	居住者の希望を尋ね、一回でどの程度の人数ならお連れできるか、また、他のお客様に迷惑にならないような、座席があるお店等、いろいろ考慮し、月に一回程度は、外食や外出を行っていく。	3ヶ月
2	26	ケアプランに沿ったケアを行っていたが、新人職員にまで、そのことが浸透していないこともあった。共同認識の理解が足らなかったと感じることもあった。	来年度の大きな目標として、ケアプランに沿ったケアとその記録の取り方についても、見やすく、わかりやすく、施設全体の目標に掲げられており、グループホームとしてもケアプラン→ケア→記録を職員全員が認識して行えるようにする。	ケアプランに則った記録の取り方を記録委員会で決めて、全職員に伝え実行する。	6ヶ月
3	38	現実的に県内で地震が起きたことで、万が一の場合の場合の準備が不足していると感じた。	災害時の避難のシミュレーションをもっと細部まで決める。必要な物品を洗い出し、補充する。	避難訓練時に災害時の避難方法を職員間で共有する。必要な物品を洗い出す。	3～6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。